



華となれ

宮城県仙台二華中学校
令和5年度学校だより第10号
【発行日】 令和5年10月4日
【連絡先】 022-296-8101
【文責】 副校長 武田 誠

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ」には、社会に貢献できる真のリーダー（華＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

後期始業式 式辞（要約） 校長 佐藤 弘人

後期の始業式にあたり、これまで半年の振り返りとか、これからの卒業、進級を目指して何点か伝えたいと思います。さて、この夏の暑さをどう考えたらいいのでしょうか。スーパーエルニーニョ、沸騰する地球等々、様々に表現された夏でした。ただ、この危機感に慌てて対策を！と煽られる雰囲気には気を付けなければなりません。温暖化を防ごうとする人間の生活改善は引き続き行っていく必要がありますが、来年も酷暑だからその対策で～しなければならぬ！と言う論には一呼吸置いてから冷静に対応する必要があると考えています。どうでしょうか。

このような厳しい環境の変化もありながら、皆さんの前期の各活動は、充実の中で終わることができました。どれも皆さんと先生方が力を合わせ大きな成果を得ました。…皆さんの個性豊かで素敵に活躍する姿に日々心動かされています。部活動でも、課題研究や学習成果の発表の場でも、皆さんは存分に力を発揮しました。

あなたの「推し」は誰ですか、のような声を聞くことがあります。今は「推し活動」というように「思い入れのあるヒト・モノ・コトに対して応援する活動」となるようです。そこで、「校長先生の推しは、二華の生徒と先生方です」と宣言します。全面的に応援しています。後期もまだまだ皆さんを成長させる仕掛けは続きます。私の推し活動も続きます。それに皆さんも応えて、これまで以上に輝いてください。

来年、本校は創立120年を迎えます。重みのある伝統校です。男女共学・中高一貫開始から14年目、バカロレア開校から4年目となります。重みある伝統に裏打ちされた「至誠貢献」の姿勢、それを土台として新たな時代に対応した「進取創造」を求める学校です。変化を恐れませんが、今後、創立120年の言葉が幾度も意識されるでしょう。皆さんと共にこの学校の積み重ねを知り、今後のあるべき姿を描いていけたらと思っています。

最後は考えてもらいたいことです。国連の「世界幸福度調査」で日本は47位でした。どう評価しましょう。最近日本は、世界に対し経済・政治・医療・エネルギー・食料などの分野で自信をなくしているようです。しかし、文化・芸術・自然環境では自信を持っているようです。その上、スポーツでは、世界と互角に競り合い、多くの種目で上位に入るようになってきていることに気付きます。二華が目標とする、日本や世界での貢献を目指すのであれば、文化・芸術・自然に対して日本はなぜ自信をもっているのか？スポーツの分野ではどんな取組が実を結びトップレベルに上がってきたのか？世界の多くの人の幸せの向上には、経済・政治・医療・エネルギー・食料生産に新たな知恵と実行力が不可欠だと思います。では、これから社会の中心となる皆さんは、どう学んでいくか？ここまでは問題提起です。考察や結論はそれぞれでいいでしょう。今日の話をつっかきけに十代の皆さんに考えてほしいのです。

さあ、収穫の秋でもあります。学習成果も実らせてください。不安かもしれませんが、二華の心強いところは、仲間も先生方も一緒に走ることです。私も「推し活」頑張ります！

中学校体育大会(球技)

前期の最終日となる9月29日(金)、中学校秋季体育大会を実施しました。今回は中学校のみの球技大会で、クラスの連帯を強め、よりよい人間関係構築を目的に行われました。学年内での学級対抗で、「きばれえ」「ボッチャ」「台風の目」に取り組みました。競技に集中する真剣な顔、仲間のプレーを必死に応援する姿、そして、笑顔や歓声が会場に響き、生徒の様々な表情を見ることができました。体育行事委員会の生徒が企画や当日の運営を熱心に行い、生徒の手で実施する達成感を存分に味わえた爽やかな一日になりました。クラスの団結も、さらに深まったようです。



3年生『命の大切さを学ぶ教室』

9月22日（金）に、3年生を対象とした「中学校における『命の大切さを学ぶ教室』」を開催しました。この教室は、宮城県警の犯罪被害者支援室が企画し、身近な犯罪被害者が受けた心の痛みや、生命の大切さなどへの理解を通し、被害者声援の協力を促すとともに規範意識の高揚を図るものです。

講話では、被害者支援の現状と取り組みについてお話しいただいた後、交通事故被害者遺族の方の手記の朗読が行われました。手記の中にあふれる母親の子どもへの切ないほどの愛情に触れ、生徒たちは真剣なまなざしで最後まで話を聞く姿が印象的でした。警察の方への感謝の言葉の中で、代表生徒のT・Yさんが「知ることのなかった犯罪被害が実は身近にあることを知った。その方々の気持ちに寄り添うと共に、しっかりと法を守って生活していきたい。」と感想を述べました。命の大切さを頭で考え、心で理解し、実際の行動に繋げていくことの重要性を学んだ時間となりました。



令和5年度仙台市中学校新人大会

- 1 日程 令和5年10月7日（土）、8日（日） ※10日（火）が振替休日になります。
- 2 大会参加運動部の動き（会場・対戦校・試合時間・校内での練習予定）

部活名	会場	対戦校など
サッカー	泉グラウンド	7日：対広瀬中 11：40
ソフトテニス	今泉庭球場	7日：個人戦
バドミントン	宮城野体育館	7日：男子団体 対七郷中、女子団体 対聖ウルスラ学園英智中 9：30 8日：個人戦 9：00
陸上	弘進ゴムアスリートパーク	両日とも 9：30～
バスケットボール	将監東中	7日：対長命ヶ丘中・南光台中の勝者 14：20
卓球	東北学院中	8日：男子団体 対蒲町中・中野中の勝者 女子団体 対宮城野中 団体戦後に個人戦
新体操	錦ヶ丘中	8日：個人のみ 9：30
剣道	宮城県武道館	7日：男子 14：10 8日：女子 9：10
バレーボール	五橋中学校	7日：対五橋中、仙台一中、宮教大附属中
ソフトボール	大沢中学校	7日：対広瀬中・八乙女中・将監東中合同チーム 9：00



9月25日（月）に仙台市中学校駅伝競走大会が行われました。暑さによる1か月の延期でしたが、参加選手はその間も練習に汗を流し、当日もチームと自分の目標に向かって精一杯駆け抜けました。当日出場した選手だけでなく、毎日一緒に走った仲間、陰から練習を支えたマネージャーが一丸となって得たものは、何物にも代え難い一夏の財産です。本当にお疲れ様でした。

おめでとうございます

○仙台市中学校英語暗唱大会 兼 全日本中学校弁論大会仙台市予選大会

暗唱の部 優良賞：3年 S・Sさん

○少年の主張若林区大会

最優秀賞：3年 T・Tさん（Tさんは少年の主張県大会でも優良賞を受賞しました）

○仙台市中学校新人大会 水泳競技

・女子50m平泳ぎ第1位：1年 S・Rさん、女子100m平泳ぎ第2位：1年 S・Rさん

○仙台市中学校弁論大会Bブロック大会

優秀賞：3年 M・Mさん

